



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした  
天栄だからできる少人数教育

2025.11.14

# 教育委員会だより No.172

愛村心（＝尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会



## 天栄村 ふるさと・夢未来応援事業 和田聰宏さんを迎えてワークショップ

天栄中学校では9月9日（火）と10日（水）に表現力育成ワークショップ、大里小学校では10月21日（火）と22日（水）に大里城物語演劇ワークショップを実施しました。

天栄中学校2年生の生徒と大里小学校5・6年生が参加しました。

講師として、多くのテレビドラマや映画に出演している天栄村出身の和田聰宏さん、有限会社ノックスの皆様、大里小学校には加えて殺陣師の高橋伸穂さんにお越しいただきました。

講師の皆さんも、子どもたちと一緒に活動し、演技のプロとしての高い表現力を子どもたちに見せてくださいました。そんな姿を見て、はじめは緊張していた子どもたちも、ワークショップが進むにつれて大きな声が出せるようになったり、体を大きく動かしたりすることができるようになりました。

2日間のワークショップをとおして、自己を表現することの面白さや奥深さを肌で感じた子どもたちの表情は、とても生き生きとしていました。この2日間の経験を、将来の自分のために役立ててほしいと願っています。



## 幼小中連携研修会・「つなぐ教育」授業公開

10月21日（火）に天栄幼稚園を会場として、村内の幼稚園・小学校・中学校の先生方を対象に幼小中連携研修会を実施しました。園児の学びの姿をもとに、小学校・中学校との学びの連続性についてそれぞれの立場から意見交換を行いました。

10月24日（金）には今年度第2回天栄村「つなぐ教育」授業公開が大里小学校で行われました。1年生の国語科と4年生の算数科の授業を幼稚園・小学校・中学校の先生方で参観しました。授業公開後には、福島大学 宗形潤子教授を講師にお迎えして、子どもの「非認知能力」についての講演が行われました。今後も村内の幼稚園、小・中学校の教育の充実に向けて、幼稚園・小学校・中学校の連携をさらに推進してまいります

## 就学時健康診断

10月29日（水）に天栄幼稚園を会場として、令和8年度に村内小学校に入学する幼児の就学時健康診断を実施しました。視力検査や聴力検査、スククリーニング検査などを行いました。子どもたちにとっては、とても長い時間の検査でしたが、最後までしっかりと取り組んでいました。

先生の話をよく聞いて行動する子どもたちの姿を見ていると、新入生として小学校に登校してくる4月、今から楽しみです。



## 生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。



### ○第3回てんえいアクティビティクラブ・湯本しぜん塾 「羽鳥湖高原散策＆木工クラフト体験」

10月20日（土）、湯本しぜん塾との共同事業で、今年度第3回目となる「てんえいアクティビティクラブ」が開催され、道の駅羽鳥湖高原周辺において、秋の野山散策を行いました。講師の湯本森・里研究所のお二人に鳥獣被害の状況や木の実について実際に見て触れて説明を受け、参加者はドングリや紅葉した大きな葉っぱ、松ぼっくりなどを拾いながら秋の高原を楽しんでいました。



また散策の後は、羽鳥湖高原交流促進センターに移動し、木工クラフト体験を班毎に分かれ行いました。皆思い思いに木の枝や幹の輪切り、木の実などを上手に使いながらたくさんの作品を作っていました。完成した作品を手に「見て！できたよ！」と皆に披露する子どもたちの顔には、自信と達成感が詰まっている様子でした。

### ○第2回福島県の歴史文化学び講座開催



伝統技術を継承しながら、現代に息づく新たな作品を創作している過程などお話を頂きました。また陶芸体験として、カラフル粘土を使った小皿づくりを体験しました。貴重なお話しが聞けたことと制作した作品が完成し届くのが待ち遠しいです。

10月28日（火）、第2回目の福島県の歴史文化学び講座が開催され、今回はいわき市にある大堀相馬焼陶吉郎窯に訪問しました。十代目の陶芸家である近藤賢さんに、東日本大震災の影響により非難を余儀なくされ、新天地のいわき市で制作を続けていた経緯や300年にもわたる

